

「審判の留意点」について (全国高校総体)

～審判の心構え～

(1) 審判団

- ① 審判団はファミリーという感覚を持ちましょう。
- ② 困った事があったら皆でサポートしあいましょう。
- ③ 審判員の態度や姿勢しだいで大会の進行がスムーズになります。凛とした態度で臨みましょう。
- ④ 審判員でありながら自分の所属先の応援をすることはタブーです。
- ⑤ 会場での監督、コーチ、選手達との私語は慎みましょう。
- ⑥ 皆で力を合わせて、大会を成功させましょう。

(2) 審判の成功の鍵

- ① 良い審判の 3 つのポイント
・ Feeling (感覚) ・ To Know (ルールの熟知) ・ To Apply (適用する)
- ② 常に公平かつ平等。
- ③ 優しさと厳しさを持つ。
- ④ ハンドシグナルは大きく、ゆっくり、丁寧に行う。
- ⑤ フラズダルの分析は簡単明瞭に。長々と説明する必要はない。

(3) 服装について

審判の服装が乱れていると、試合もだらけてしまいます。最近フェンシングに関する新聞掲載、テレビ放映等が多くなっています。どこから、誰に見られても恥ずかしくない服装、及びシューズでジャッジを行いましょう。

(4) カードの付与 (違反と罰則の一覧参照)

- ① 違反には必ずカードを付与しましょう。これは審判の使命です。
- ② カードは誰が見ても分かるように、ピストの中央で腕を高く上げて肘を伸ばして示します。(審判員のジェスチャーと号令を参照)
- ③ カードをスムーズに出せるように、イエローは胸ポケット、レッドはズボンのポケット、ブラックはお尻のポケットに入れましょう。右の選手の違反は右手で、左の選手の違反は左手でカードを付与します。

(5) 試合前の準備

- ① 試合開始 15 分前に担当ピストの審判器やピストに異常がないかチェックする。
・ 審判器が新ルールになっているかどうか確認しましょう。
- ② 試合に必要なものが揃っているかチェックする。
・ スコアシート ・ カード ・ ゲージ ・ ウェイト (フルール、エペ)
- ③ 試合 10 分前に選手をコールする。
・ 所属と名前を確認。
・ コール時に選手がいなければ技術委員会へ連絡し、技術委員会立ち会いの下で計時する。
・ 1 番目と 2 番目の選手をコールする。(試合運営をスムーズに！)
・ 左利きの選手が多いチームは審判からみて左のベンチに位置させる。

違反と罰則／判定について

(1) 試合を始める前に必ず確認すること

- ①ユニフォーム、プロテクターのチェック。
 - ・ユニフォーム (350N)、プロテクター (FIE 公認800N)、マスク (FIE 公認1600N) サーブル用グローブ (FIE 公認800N) に適応しているかどうか確認し、グローブに破れ等がある場合使用不可とします。
 - ・女子は半袖プロテクター以外にプラスチックのプロテクターを着用することが義務付けられています。シャツの上にプラスチックプロテクターを着用し、その上から半袖プロテクターを着用します。男子はプラスチックのプロテクターを着用することは義務付けられていません。着用する場合はTシャツの上にプラスチックのプロテクターを着け、その上から半袖プロテクターを着用します。
- ②ユニホームのファスナーはあがっているか。
- ③ハイソックスはあがっているか。
- ④グローブはつけているか。
- ⑤剣にワイヤーをつけているか。
- ⑥ピストに上がる前にマスクを持っているか。
- ⑦ピストに上がる前に後ろのボディーワイヤーを付けているか。
 - ・上記①～⑦のことが守られていない場合、全てイエローカードを付与します。
 - ・用具検査のある時、マスク、ワイヤー、剣に用具検査マークがついていなければレッドカードを付与し、違反をしていない選手に1ポイント得点を入れる。
- ⑧検査で不合格となった用具のシールは外しておく。
- ⑨学校対抗戦におけるコードの付け替えに要する補助は次の選手のみとし、他の選手がチームエリアから出ないように注意する。
- ⑩ウェイトの検査は剣を垂直に立てて行う。反発力が小さい場合に手を加えてはならない。

(2) 補助員の監視

- ①時計係：時計が正確に動作しているか確認する。
- ②得点係：得点が正確に入れられたか確認する。主審の判定前に入れてはならない。
- ③記録係：1試合ごとに確認、署名。全試合終了後に監督、主審の署名。

(3) サリユールについて

- ①試合開始前スタートラインでのサリユール、試合終了後スタートラインに戻ってのサリユールが義務付けられています。
- ②試合開始前、試合終了後共にサリユールを拒否した場合、ブラックカードを付与します。
 - ・サリユールは、相手の選手、審判、観客に向かって3方向に行うように選手に指示します。

(4) 剣の湾曲

- ①フルーレ、エペの剣の湾曲は1cm以内です。フルーレ、エペの場合、剣先が意図的に曲がっている時も (フックしている場合)、イエローカードを付与します。
- ②サーブルの剣の湾曲は4cm以内です。
 - ・『アン・ガルト～プレ・アレ!』の後、上記の違反を認識した場合、イエローカードを付与します。

(5) スタートライン

- ①試合開始時及びポイント得点後の構えなおし時は、常にスタートラインの内側につま先を位置させましょう。
 - ・スタートラインを踏み越えて構えた選手にイエローカードを付与します。

(6) コル・ア・コル

《コル・ア・コルとはフランス語で身体と身体が接触するという意味》

- ①フルーレ、サーブル、エペにおいて試合中の単純なコル・ア・コルを発生した場合、アルトをかけて構え直しさせます。
- ②トゥッシュを避けるためや、相手を押して故意的にコル・ア・コルを起こした場合はイエローカードを付与します。(3種目共通)

(7) ボスクラー／ショック・ボスクラー (3種目共通)

《ボスクラーとはフランス語で乱暴に押すという意味》

- ①試合中にぶつかった場合(ボスクラー／衝突)もイエローカードを付与します。(3種目共通)

★アルト前、アルト後ともに適応され、違反を起こした選手のトゥッシュは取り消します。

《ショック・ボスクラーは強く危険な衝突という意味》

- ①アン・ガルドが崩れるような、危険で強い衝突を起こした選手に対してレッドカードを付与します。(3種目共通)

★アルト前、アルト後ともに適応され、違反を起こした選手のトゥッシュは取り消します。

(8) 相手に背中を向けた場合 (3種目共通)

- ①アルト前に対戦相手に背中を向けた場合、イエローカードを付与します。

- ②アルト後に対戦相手に背中を向けた場合は違反の対象にはなりません。

★違反をした選手のトゥッシュは取り消します。

(9) 頭を下げた場合／ヘッドダウン (3種目共通)

- ①試合中、頭を下げた(ヘッドダウン)選手に対して、イエローカードを付与します。なぜならば危険な状態であるからです。

★違反をした選手のトゥッシュは取り消します。

(10) ワイヤーについて (3種目共通)

- ①試合中(「アレ!」から「アルト!」までの間)、ワイヤーに触れたり、引っ張ったり、掴んだりした場合、イエローカードを付与します。

- ②電気線を接触させることによりランプが点灯する可能性があるからです。

★違反をした選手のトゥッシュは取り消します。

(11) 有効面について

- ①剣を持たない手や腕を使った場合、レッドカードを付与します。(3種目共通)

- ②剣を持たない手で有効面を隠した場合、イエローカードを付与します。(フルーレ)

- ③肩の転移は認められますが、転移時に腕で有効面を覆っている場合はイエローカードを付与します。(フルーレ)

★違反をした選手のトゥッシュは取り消します。

(12) 髪について

- ①肩に髪の毛がかかった場合、イエローカードを付与します。(3種目共通)

- ②試合の途中で上げた髪がほどけるような状況が繰り返された場合、イエローカードを付与します。(3種目共通)

・特に女子の場合、束ねた髪が肩につかないようにしてください。また、長い髪はマスクの中に入れる等して試合中にほどけないように注意させて下さい。

(13) サイドライン／エンドラインの踏み越し (3種目共通)

- ① サイドライン (横の境界線) から片足を踏みこした選手に対し、ピストを出た場所から 1 m 後方に下がるよう指示する。攻撃中にピストから出た場合は、攻撃を始めた位置に戻り、さらに 1 m 後方に下がるよう指示する。
 - ・偶発的原因の結果 (例えば、相手選手に押される等) として、サイドラインから片足が出てしまった場合、違反の対象になりません。
- ② エンドラインから 1 m 内でサイドラインから片足を出してしまった選手に対して、上記罰則を適用するため、違反をした選手はエンドラインから押し出され、違反をしていない選手に 1 ポイント得点を入れます。
 - ・その時のハンドシグナルはポアンのみとなります。(トウシェの付与は行わない)
- ③ 相手のトウシェの回避するため、サイドラインから片足を出した選手に対し、上記の罰則を適用し、更にイエローカードを付与します。
- ④ トウシェをした選手の両足がサイドラインから出ている場合、そのトウシェは無効となります。その時、相手選手の片足がサイドラインから出ている、もう片方の足がピスト上に位置している場合、その選手のトウシェは無効です。

(14) 対戦無意欲試合 (ノン・コンバッティビテ)

下記の 2 基準の内 1 つがあれば、ノン・コンバッティビテである。

- ① 1 分間トウシェがない場合 (トウシェとはパラブル、ノン・パラブルのこと)
 - ② ~~剣の接触がない場合 (約 15 秒)~~。コンタクトがない又は過剰な距離で戦う (約 15 秒)
- 上記の①、②のいずれかが見られた場合、対戦無意欲とみなします。

(15) 個人・学校対抗戦の対戦無意欲試合 (ノン・コンバッティビテ)

試合中、両選手が明白な対戦無意欲を示す場合、試合終了時に得点が同点になる場合に備え、勝者を決めるための (プライオリティーの) 抽選を先だてて行い、1 分間の試合を行います。

☆ (16) 監督の違反行為 (高体連ルール)

監督の試合中のアドバイスや根拠のない抗議には、イエローカードを付与します。この場合に関連する選手に適用し、その後のアドバイス等や、第一グループの違反『例えば、プロテクターをしていない、用具の不備等』は全てレッドカードが付与されペナルティートウシェとなります。第二グループ～第四グループの違反はルール通りに適用されます。

※監督イエローは 1 つの試合が終了したら解除となります。(個人戦・学校対抗戦)